

下田学区まちづくり協議会の活動が内閣府の事例紹介としてホームページに掲載されました。

地方創生 事例集

(小さな拠点・地域運営組織版)

平成30年1月
内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局

地方創生事例集(小さな拠点・地域運営組織版) 目次

小さな拠点・地域運営組織の先駆的な取組	
・ 藤沢活性化協議会(青森県平内町)	6
・ おおいさまスーパー「みせっこ あさみない」(秋田県五城目町)	7
・ ふじさとReデザインプロジェクト(秋田県藤里町)	8
・ 全世帯加入により住民主体の地域づくりを推進するNPO法人きらりよしじまネットワーク(山形県川西町)	9
・ 地域協働型むらづくり事業(田村のゆめづくり協議会)(福井県小浜市)	10
・ 女性目線で地域の課題解決に取り組む特定非営利活動法人あわてんぼう(三重県伊賀市)	11
・ 全ての市民の社会参加がかなう互助共生のまちづくり(三重県名張市)	12
・ 一般社団法人 青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会(三重県名張市)	13
・ 下田学区まちづくり協議会(滋賀県湖南市)	14
・ 旧平屋村(10集落)の「小さな拠点」として機能する道の駅「美山ふれあい広場」(京都府南丹市)	15

※平成29年11月作成

事例名称	下田学区まちづくり協議会	政策分野	1. 地方における安定した雇用の創出 2. 地方への新しい人の流れをつくる 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現 4. 時代に合った地域、安心な暮らし、地域と地域の連携
取組地域	滋賀県湖南市下田	活用した政府の支援	▶ 地方創生推進交付金(内閣府)
全体概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 下田学区は旧村4区、新興住宅地5区の計9区から構成。協議会は各区と連携し、「学区民の誰もが愛着と誇りを持って楽しく暮らせる地域づくり」に向けて活動 ○ 市の交付金を活用し、高齢者や子育て中の女性が安心して暮らし続けられる事業の実施や、多くの若者にも参加してもらえるイベントを開催 	イメージアップ資料(写真・図表等)	
特徴的取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ちょこっとカフェ」、「ちょこっと手伝い」による高齢者の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 下田まちづくりセンターで週1回、「ちょこっとカフェ」を開催。手ごろな価格で健康的な食事とともに、高齢者が集う場を提供。 ・ 独居の高齢者や高齢者夫婦等ゴミ出しや庭の手入れといった家事が困難になっている住民と、健康なシニア層や空き時間の多い住民とをマッチングし、家事を代行してもらう「ちょこっと手伝い」を計画。 ○ 「子育てサロン」による母親支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学区内の母親に憩いの場を提供する「子育てサロン」を下田まちづくりセンターで週1回開催。子育て中の母親であれば誰でも無料で参加でき、子育て談話や各種イベント等を通して、1人での子育てに不安を感じる母親を支援。「ちょこっとカフェ」と同日に開催することにより、世代間交流を促進。 ○ 若者との交流の場「泥りんピック」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道比布町で開催されている「泥んこパレー」に感銘を受け、他の種目も取り入れた「泥りんピック」を平成25年に開催。以後、毎年開催し、下田学区に若者を迎えるきっかけになっている。 	<p>ちょこっとカフェ</p>  <p>子育てサロン</p>  <p>泥りんピック</p> 	
取組の工夫等	推進体制面		
参考となるポイント・示唆	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学区内の各区と連携し、学区民の誰もが愛着と誇りを持って楽しく暮らせる地域づくりに向けて活動。 ○ 市の交付金を活用し、高齢者や子育て中の女性が安心して暮らし続けられる事業を実施。 ○ 若者にも参加してもらえるイベントを開催し、地域に若者を迎えるきっかけづくりにも取り組む。 		

14

先日内閣府審議官(青柳局長)が湖南市まちづくり協議会の現況把握として「下田学区まちづくり協議会」を訪問された事をお知らせしましたが、その取組み状況が内閣府の事例紹介としてホームページに掲載されました。この事は下田まち協の取組みが大きな意味を持つものとして注目されたという事だと思えます。私達は今後もこういった活動をさらにおしすすめなければなりません。区民の皆様のさらなるご協力をよろしくお願いします。